

宣社

一面三誠側ニ於テハ昨日叢葉音便達轉手、在
保証人ニ對シ倉地事務取締、和ヲ以テ運轉手
終代諸君ト會見、顔末ト夥スル印刷物ヲ送附
シ以テ保証人ヲ通ニテ各自、及商ヲ促シ高小
高不羈業園ハ運動資金トシテ布施年復士ヨリ
金十四、貸典ヲ委ケタル分三誠森縫部技工ヨリ
十四全額加工部技工ヨリ十四、寄附金ヲ得
タルカ資金ニ窮入ル場合ハ行商ヲ為シテ逆天
館造筋志ヲ貫徹セント揚言ニ居ルノ同交代、
從事負累ハ本向題ニ對シ格別意ニ付シ居リ
ル種様ナリ
右及申廻報候也

別記

檄

(五十二大活版印刷物)

三誠從業宣佈元!

諸君同様棟ニ諸君、兄弟親族ベ一た一通輸手諸君がすどんきヲ志
テ居ルコトヲ知ラヌ第アルコトレタ知識カラ同様行動ニ出テ得ナイトハ所事
卑屈ア無自尊ア。

儂達芳商者勿食慾ナ資本來マ極慕ナ権力ナタメニ會甚、と人畜ニ呻吟ニ
時シカラ脱ヘル唯一道ハ後達、自給、偉力タニナドウコト云フ武器ア。

日本一、盡系、華園、三誠一。

資本來、金捨場、三誠一。

其一地下室、春蠶メテ薄然、多クノ足跡達ヨリ

諸君ハ嘗テ大正九年十月、洋服技工足連が東京十倉園ニシテ、ノ洋服、改善半價
得ニ奉リ、當下宣部が重税苦闘、後ソ要求、半價減、予下ノ意ヒハズコト。

階上階下、從業宣佈元!